



開催報告

医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を8月28日(金)に開催し、2020年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会委員並びに特例委員が、今年度の推薦数：医学賞25, 奨励賞30を審査した。

選考の結果、11月1日(日)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は3名, 奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

<日本医師会医学賞>

- オートファジーの分子機構と病態生理学的意義に関する研究
水島 昇(東大・分子生物学)
- 健康格差縮小を目指した社会疫学研究
近藤克則(千葉大予防医学センター・社会予防医学)
- 肝炎から肝癌に至る病態の解明と臨床応用
小池和彦(東大・消化器内科学)

<日本医師会医学研究奨励賞>

- T細胞受容体シグナル伝達における細胞骨格アクチンの分子制御機構の解明
Thumkeo Dean(京大・創薬医学)
- 大規模マルチオミクスデータの因果推定による糖尿病のリスク因子解明
鈴木 顕(阪大・遺伝統計学)
- 腫瘍血管内皮細胞の多様性の解明と新たな血管障害療法の開発
内藤尚道(阪大微生物病研究所)
- 幼若期における前頭前野の髄鞘形成は社会性を制御するのか？
牧之段学(奈医大・精神医学)
- 感染症流行下でのNCDsリスクの変化の観察と介入可能項目の探索：一般地域住民コホートや出生コホートでの検討
目時弘仁(東北医薬大・衛生学・公衆衛生学)
- 左室収縮能が保たれた心不全の個別化医療を目的としたディープフェノタイピングによる新規クラスター構築
永井利幸(北大・循環病態内科学)

次ページへ続く

- 難病疾患・肺動脈性肺高血圧症に対する分子遺伝学的個別化治療戦略の構築
片岡雅晴 (慶大・循環器内科学)
- 原発性硬化性胆管炎の病態解明
垣内伸之 (京大・腫瘍生物学)
- 下肢末梢動脈疾患と冠動脈疾患における心血管リスク管理の比較検討
高原充佳 (阪大・糖尿病病態医療学)
- 遺伝性胃癌臨床検体の網羅的ゲノム解析による上部胃癌の分子生物学的発癌メカニズムの解明
岩槻政晃 (熊本大・消化器外科学)
- 食道癌に対する化学放射線療法の感受性の向上を標的とした革新的治療法の開発
中島雄一郎 (九州がんセンター・消化管外科学)
- iPS細胞創薬のアプローチによる内耳性難聴治療の開発研究
藤岡正人 (慶大・耳鼻咽喉科学)
- 遺伝子多型を用いた前立腺癌薬物療法の予後予測法の開発
塩田真己 (九大・泌尿器科学)
- 新規眼科手術補助剤開発による疾患病態理解と治療法開発への挑戦
久富智朗 (福岡大筑紫病院・眼科学)
- 血管炎におけるメタゲノム解析による病原体の同定と発症メカニズムの解明
宮部千恵 (女医大・皮膚科学)

イベント情報

第157回日本医学会シンポジウム

テーマ：「遠隔診療とロボット支援手術の未来」

組織委員：近藤 博史 (鳥取大学教授), 森 正樹 (九州大学教授)

開催形態変更のお知らせ：新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、無観客で開催し、後日、日本医学会ホームページ<http://jams.med.or.jp>にて映像配信する形態に変更になった。

第28回日本医学会公開フォーラム

テーマ：「コロナへの対峙：保健・医療の変容とこれからの社会」

組織委員長：磯 博康 (日本公衆衛生学会理事長)

組織委員：大友康裕 (日本災害医学会代表理事), 舘田一博 (日本感染症学会理事長), 寺崎 仁 (日本医療・病院管理学会理事長)

開催形態変更のお知らせ：新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、無観客で開催し、後日、日本医学会ホームページ<http://jams.med.or.jp>にて映像配信する形態に変更になった。